

防災スペシャリスト養成研修（有明の丘） 令和4年度 第2期（オンライン研修）
「総合監理」コース

【各講義の内容と学習目標】

受講期間 オンデマンド：R5年1月16日（月）～2月5日（日）

リアルタイム：R5年2月3日（金）13：00～17：00

手法	No.	単元の概要	No.	時間	講師名	学習目標	
オンデマンド 講義	1	総合防災政策	1	81分	岩田 孝仁 (静岡大学)	<ul style="list-style-type: none"> 防災政策の重要性を説明できる。 予防対策に関する防災政策の基本的な考え方を説明できる。 応急対策に関する防災政策の基本的な考え方を説明できる。 地域の防災力向上の基本的な考え方を説明できる。 	
	2	総合的な被害抑止施策の実施	水害や土砂災害、地震などの被害を抑止するための総合的な対策について学ぶ。	2-1	64分	長尾 聡 (新潟県)	<ul style="list-style-type: none"> 水害をどのように防ぐのか総合的な水防対策を説明できる。
				2-2	60分	大野 宏之 (全国治水砂防協会)	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害をどのように防ぐのか砂防事業の方針と地域の課題を説明できる。
				2-3	26分	池谷 朗 (静岡県)	<ul style="list-style-type: none"> 建築物に対する耐震化と室内安全対策について説明できる。
				2-4	29分	米田 和也 (UR都市機構)	<ul style="list-style-type: none"> 都市防災事業の先進事例を説明できる。
	3	リスク評価に基づく災害対応の検証	防災アクションプランの策定手法であるリスク評価→施策目標の設定→事業評価指標の設定→進捗管理→検証→事業見直しといったサイクルについて学ぶ。	3-1	30分	山本 晋吾 (兵庫県立農林水産技術総合センター)	<ul style="list-style-type: none"> リスク評価と被害想定のか考え方について説明できる。
				3-2	34分	広富 将司 (内閣官房)	<ul style="list-style-type: none"> リスク評価に基づく防災政策への反映について説明できる。
	4	応急対策の実態	災害対策本部における重要業務と応急活動の実態について学ぶ。	4	61分	木村 敬 (熊本県)	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部における災害応急活動の実態について説明できる。 広域防災拠点ネットワークと緊急輸送路ネットワークの考え方について説明できる。 国や都道府県、市区町村、各種関係機関との広域応援の考え方について説明できる。 自主防災組織や企業など民間との連携について説明できる。
	5	大規模災害の検証と対応	大規模災害がどのように検証され、どのような対応方針が示されているのかを学ぶ。	5-1	52分	室田 泰彦 (千葉県)	<ul style="list-style-type: none"> 近年の災害対応と検証を説明できる。
				5-2	46分	後藤 孝 (長野県)	
5-3				27分	信太 博之 (内閣府)		
リアルタイム 演習	6	災害対策本部体制	災害対策本部体制を構築するために必要な体制、空間レイアウトなど事前に準備すべきことを学び、災害対策本部運営の流れと心構えを演習形式で学ぶ。	6		<ul style="list-style-type: none"> 災害対応におけるプロジェクトマネジメントとしての災害対策本部体制の枠組みを説明できる。 災害対策本部体制を構築するために必要な組織を説明できる。 災害対策本部体制に求められる機能を説明できる。 災害対策本部に必要な空間レイアウトを説明できる。 災害対策本部運営の重要な流れを説明できる。 災害対策本部運営の心構えを説明できる。 	
	7	全体討論	総合防災政策立案について学んだことを、受講者がそれぞれの組織でどのように反映させるのかを考える。	7	岩田 孝仁 (静岡大学) 涌井 正之 (新潟県消防設備協会) 元谷 豊 (サイエンスクラフト)	<ul style="list-style-type: none"> 研修受講の目的を再認識する。 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 研修を活かして次につなげることを認識する。 	